

## 2018年 第7回 日本高校生パラメンタリーディベート連盟杯

## 【ESU Debate Academy 2018】報告書

教育奨励賞 提供： 有限責任あずさ監査法人

## 渋谷教育学園渋谷高等学校 3年 鎌原舞衣 齋藤陸

私たちは、第7回日本高校生パラメンタリーディベート連盟杯全国大会で優勝し、その副賞（あずさ監査法人賞）として、7月29日から8月3日、English-Speaking Union主催のDebate Academy 2018に参加しました。コーチは世界トップレベルであり、参加生徒は英国の高校生だけでなく世界各国から集まって来た非常に優秀な人たちでした。そんな環境を最大限に活用できるような配慮もなされていて、毎日、自分の成長を感じることができる充実した一週間を送ることができました。

内容は、練習試合と講義が半々でした。Debate Academyの最大の魅力は練習試合の質の高さです。私たちはWSDC（＝高校生世界大会）スタイルの上級者レベルのクラスに入ることになったので、開始前は英国のトップディベーターを相手に試合をすることに不安を感じましたが、実際は日本で教わってきたことで十分に勝負でき、素晴らしい選手たちと共に試合をすること自体良い経験になりました。それに加えて、ヨーロッパの大会で活躍している現役ディベーターや各国のWSDCチームのコーチがジャッジをしてくださり、非常に丁寧で納得できるアドバイスを受けることができました。的確な指導のおかげで試合を重ねるごとに上達することができました。

午前中の講義はディベートの技術に関するもので、レベル別で行われました。アーギュメントの立て方（＝主張についての理由の考え方）やスピーチの仕方などの全体的なものからPOI（＝試合中の質問）の仕方などの細かい点まで多岐に渡っていました。WSDCなどの実用例を多く紹介して下さったので、とても理解しやすかったです。生徒の自主性を重んじ、常に質問しやすい雰囲気、時には私たちの要望に応じてトピックを変えることさえしていただけました。

Electivesと呼ばれる午後の講義では、普段の学校の授業では細かく学ぶ機会のない専門知識を学ぶことができました。哲学、国際関係と人道的介入、旧ソ連の衛星国、アイルランドの政治情勢など様々なテーマから、毎日受講したいものを自由に一つ選びました。説明はとてもわかりやすいためになるもので、知識の重要性を改めて感じることができました。

夜にはSocialsと呼ばれる生徒間交流の時間があり、皆でゲームを行ったりしました。同じ寮の人たちと一緒に練習した人たちと仲良くなることができ、帰国後も連絡を取り合っています。

この研修を通し、ディベートの技術や国際的な知識だけでなく、素晴らしいコーチや同世代のディベーターと出会えたことは私たちの財産となりました。今回、このような機会をくださったHPDUの皆様、有限責任あずさ監査法人の皆様、研修の手配をして下さったESUJの皆様、ご協賛をいただいたANAホールディングス株式会社の皆様に心から感謝申し上げます。

